

令和3年 女性医師支援・ドクターバンク連携  
 関東甲信越・東京ブロック会議における都道府県医師会報告事項

- ①各都道府県医師会ドクターバンクの状況報告
- ②各都道府県医師会における復職・再就職支援体制について
- ③女性医師のキャリアアップ支援体制について

①各都道府県医師会ドクターバンクの状況報告

- ・茨城県医師会では、ドクターバンク事業を行っていない。
- ・茨城県ではイバラキドクターズライフ（地域医療支援センター）で茨城県内の医師求人情報を公開している。

<https://ibaraki-dl.jp/recruit/>

職種	人数	年齢	学歴	給与	備考
内科	2	25-35	大学	250万	地域医療支援センター
外科	1	25-35	大学	250万	地域医療支援センター
小児科	1	25-35	大学	250万	地域医療支援センター
産科	1	25-35	大学	250万	地域医療支援センター
その他	1	25-35	大学	250万	地域医療支援センター

②各都道府県医師会における復職・再就職支援体制について

- ・茨城県医師会では茨城県からの委託事業として女性医師相談窓口を開設しており、県内の医療機関・筑波大学(筑波大学附属病院女性医師看護師キャリアアップ支援システム)・県と連携し就業をサポートしている。
- ・就業、復職希望者へは、現役女性医師アドバイザーが相談支援を行いながらマッチングサポートしている。

<https://www.ibaraki.med.or.jp/women/gaiyou.html>

女性医師看護師キャリアアップ支援システム

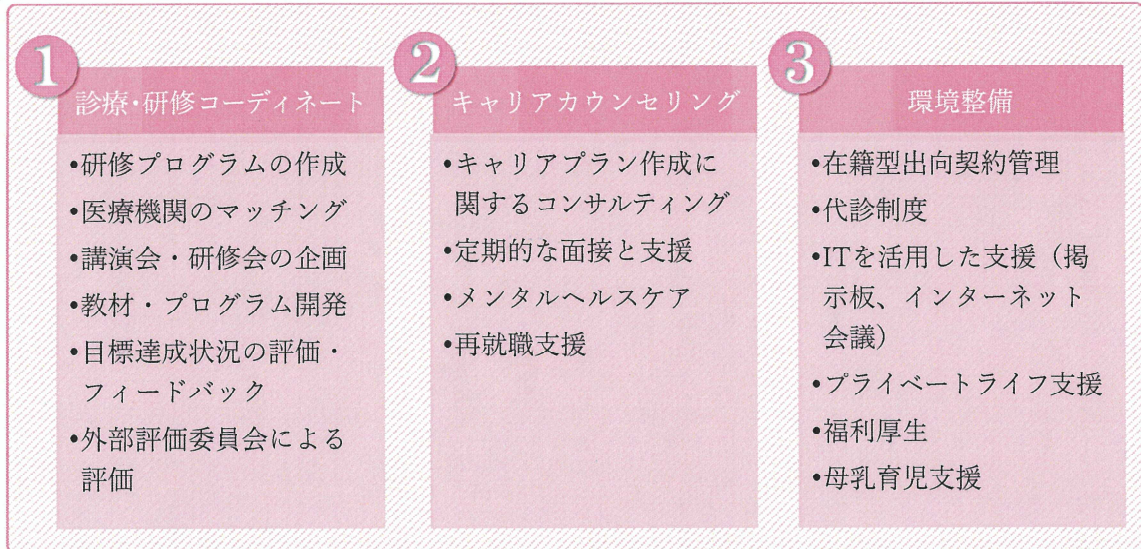
このシステムは、女性医師看護師のキャリアアップ支援を目的として開発されたものです。就業、復職希望者へは、現役女性医師アドバイザーが相談支援を行いながらマッチングサポートを行います。

③女性医師のキャリアアップ支援体制について

- ・筑波大学附属病院では、効果的な臨床現場定着・復帰支援に求められるのは、プライベートと両立しながら、単なる人手ではなく、専門職としてやりがいを感じながらキャリアを重ねていけるシステムの構築であると考え、『キャリアアップ支援システム』として、出産・育児(小学校3年生まで)等の理由でフルタイムでの勤務が不可能である医師を対象に、女性医師の就業/復職に対し支援を行っている。

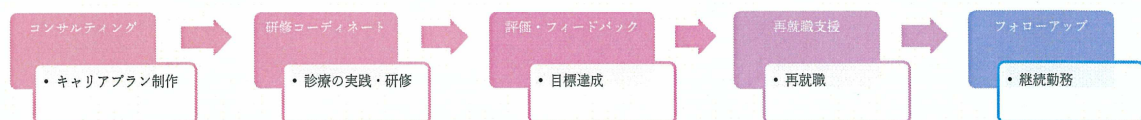
## 筑波大学キャリアアップ支援システム

『診療・研修コーディネート』、『キャリアカウンセリング』、『環境整備』の3つに分類されている。



### 1. 診療の実践・研修コーディネート

就業支援を希望する医師は、登録後、コーディネーターのカウンセリングを経てキャリアプランを作成、それに基づいてコーディネーターが個別の研修プログラムを設定しコーディネートする。研修中は、目標達成にむけての形成的評価ならびに終了評価を行い、研修終了にあたっては終了証を交付する。また、希望者については再就職支援や継続支援を行う。



### 2. キャリアカウンセリング

登録者は、長期(3年)、中期(1年)、短期(1ヶ月)の研修目標をたて、コーディネーターが定期的に個別面談を行いフィードバック及び次の短期目標の設定・修正を図るとともに、必要な支援を行っていく。

面談は診療・研修上の視点にとどまらず、育児や家庭と仕事の両立、キャリアデザイン全体にわたるもとし、メンタルヘルスケアを充実させ精神的なコンディションを配慮したマネジメントを行っている。

### 3. 環境整備

#### ◎パートタイム常勤制度の導入

常勤勤務でありながら、週 20～30 時間の勤務時間を短縮したうえで時間設定をライフスタイルに合わせ調整可能。また、年次休暇や学会出張その他の福利厚生など常勤の持つ様々なメリットを受けることが可能

#### ◎研修派遣制度

医師が関連病院で研修する場合には、附属病院の被雇用者としての身分を保ったまま研修医派遣の形で契約することも可能。

#### ◎筑波大学ゆりのき保育所の利用

時間外保育を充実させて保育時間は7時から21時。子どもの体調不良時にも対応出来るよう保健室を備え看護師が常駐している。

#### ◎e-learning システム

家庭の事情で研修会に参加できない登録書に対し、インターネット会議システムを整備し、自宅でリアルタイムにコンサルテーションや研修会・カンファレンスへの参加が可能。また、過去に使用した教材や講演会を録画した動画等のアーカイブを作成し、いつでも利用できるようにしてある。

### 女性医師のキャリアアップ プログラム

◇専門研修プログラムをベースとした研修をコーディネート。後期研修修了者または、これと同等以上と認められる場合、診療を通じて専門性の高い知識と高度な医療技術の習得を目的とするクリニカルフェロー制度での研修も可能。

◇医学群や臨床系大学院との積極的な連携を図り、単位の履修や研究活動も視野に入れた包括的なコーディネート。

◇個々の医師の技術、獲得したい技能の内容等をコーディネーターと相談のうえ、個別に半日～30時間/週の研修プログラムを設定。